



壬生の丈念佛の中興の  
 岡山圓覚上人より  
 海り毎年二月十四日  
 十日十夜本堂におきて  
 修りといふ舎の中  
 縁の物とあると  
 る。 癡蒙昧  
 の輩勝縁の  
 結ぶめくま  
 提の道ふめん  
 がための方便  
 るんべー  
 桶より  
 狂言

三井



あたごまのりの  
 こぶねと  
 むう〜たり定まる  
 ねえれねれみ香あり  
 桶より 花盗人  
 紅茶指 猿  
 愛宕系り狐は  
 やうらうら 鶴  
 ねえと又盲人川後  
 節外 花見  
 猿引 焰六角力  
 餓鬼責 若我  
 さいのら 棒志をり 性悪坊主  
 熊坂 狂生門 湯立  
 わしのいへん 男伊達  
 棒より

